令和８年度那珂川市社会教育委員の会　第２回会議

日時／令和８年８月24日(月)19:00～
場所／那珂川市中央公民館　第３学習室

*** 会次第 ***

1. 委員長あいさつ

2. 報告

○ 福岡県社会教育委員連絡協議会　第１回評議員会
と き ： 令和８年７月９日(木)
ところ ： 吉塚合同庁舎
出席者 ： 渡邉副委員長
議　題 ： 令和７年度事業報告、令和８年度事業計画、役員改選について

○第１回筑紫地区社会教育委員連絡協議会
と き ： 令和８年７月22日(水)
ところ ： 春日市役所大会議棟１階　小会議室
出席者 ： 谷川委員長、中西
議　題 ： 令和８年度事業計画、筑紫地区研修会、福岡ブロック研修会について

3. 今後の予定

（1）第２回筑紫地区社会教育委員連絡協議会
と　き ： 10月頃実施予定
ところ ： 春日市役所
議　題 ： 福岡ブロック社会教育委員研修会について

（2）福岡ブロック社会教育委員研修会
と　き ： 令和８年10月16日(金)
ところ ： 糸島市

（3）九州ブロック社会教育研究大会
と　き ： 令和８年11月５日(木) ～ ６日(金)
ところ ： 熊本県

（4）那珂川市社会教育委員の会 第3回会議
と　き ： 令和８年11月24日(火) 19:00～
ところ ： 中央公民館　第３学習室
内　容 ： テーマに関する調査･研究について

<裏面へ続く>

（5）筑紫地区社会教育委員研修会

と　き：令和８年12月４日(金) 13時30分

ところ：春日市役所大会議室

4. 議題

〇テーマに関する調査･研究について

令和８･９年度テーマ

≪多世代が集まり関わり続ける社会教育の仕組みづくり≫

5. 指導助言

第2回令和8・9年度 那珂川市社会教育委員の会

研究テーマの実現に向けて

○研究テーマ

多世代が集まり関わり続ける社会教育の仕組みづくり

議題：①2年間のロードマップ　②テーマの核について

改めて･･･社会教育委員の役割

○社会教育委員の会
↓
調査・研究・協議

提言 →

○教育委員会
↓
必要な施策・事業の改善
↓
地域・学校・団体で実践

教育委員会が、学校教育関係者・社会教育関係者・家庭教育関係者・学識経験者の中から選出して委嘱する非常勤地方公務員のことを「社会教育委員」といいます。
社会教育委員は、社会教育に関する計画の立案や調査・研究を行い、社会教育に関して教育委員会に助言をする役割を持ちます。

[参考文献 ： 社会教育法第15条及び17条参照]

①2年間のロードマップ

令和8年度
知る・聴く・交流する

令和9年度
実践・検証する・提案する

①現状把握

テーマの核をとらえる

②調査・研究

モデル実践に向けて情報収集

③実践・検証

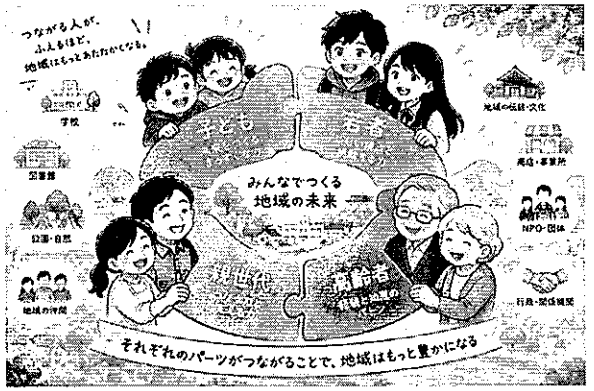
試して、振り返る

④提言

那珂川市に必要な仕組みを整理

②テーマの核について

イメージして
みましょう！！



★ワーク★
地域を形作るパーツをピックアップしてみましょう

○研究テーマ
多世代が集まり関わり続ける社会教育の仕組みづくり

○活動内容①
活躍の場がない高齢者や、仕事で忙しい保護者も多いので、**両者をつなげる仕組み**づくり

⇒　人？　物？　イベント？

○活動内容②
若者が主体的に関われる社会教育関係団体の仕組みづくり

⇒主体的とはどのような状態？何をしている状態？

令和8・9年度　社会教育委員の会研究テーマ

≪研究テーマ≫

・多世代が集まり関わり続ける社会教育の仕組みづくり

≪活動内容≫

・活躍の場がない高齢者や、仕事で忙しい保護者も多いので、両者をつなげる仕組みづくり
・若者が主体的に関われる社会教育関係団体の仕組みづくり
・各社会教育事業の確認・検証

≪テーマ設定理由≫

・現在、社会教育事業において、人を集めるのが難しい。生き生きとした活動を模索している状況にある。
・それぞれの活動では、高齢者は一生懸命だが親世代は仕事をしていて、なかなか参加が難しい状況にある。そこで、親世代の取り込みが必要であると考えている。
・社会教育委員として活動していても、市民からの認知度が低いと感じている。そのためには、まず存在を知ってもらうことが大事である。
・多世代が関わる、集まることで、地域とつながる、子どもたちとつなげる活動ができると考える。何かしたいけど活躍の場がない高齢者がいる一方で、仕事で忙しく、親だけではできない事も多いので、両者をつなげる仕組みづくりも進めていく必要があると考える。